



LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

VOL.
212

LGWAN-ASP サービスについて

LGWAN-ASPとは、府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等がASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）として、総合行政ネットワーク（以下「LGWAN」という。）を通じて、サービス利用者である地方公共団体に各種行政事務サービスを提供するものです。平成14年度に登録が始まり、平成15年度から本格的なサービスが開始されました。以来、多くのサービスが提供され、地方公共団体において利用されています。

今月号では、LGWAN-ASPの目的及び構成について説明した後、近年のLGWAN-ASPアプリケーションサービスの傾向、現在のLGWAN-ASPサービスの登録状況の概要、地方公共団体におけるLGWAN-ASPサービスの活用事例についてお知らせします。

1 LGWAN-ASPの目的

LGWAN-ASPの主な目的は、次のとおりです。

- 地方公共団体のIT化促進
- 地方公共団体が品質及びサービスレベルの高いアプリケーションを共同利用することにより、地方公共団体間のIT格差を軽減すること
- 地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムの導入・運用を可能とすること

2 LGWAN-ASPの構成

LGWAN-ASPは、-1に示すとおり4つのサービス層から構成されています。LGWAN-ASPサービス提供者は、これらのサービスを地方公共団体又は他のLGWAN-ASPサービス提供

者に対して提供します。

- ①アプリケーション及びコンテンツサービス
各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供します。
- ②ホスティングサービス
アプリケーション及びコンテンツサービスが稼働するために必要となるサーバ機器や通信機器を提供するとともに、その運用管理を行います。
- ③ファシリティサービス
ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、電源及び空調、そのための建屋等のファシリティ設備を提供します。
- ④通信サービス
LGWANに接続するための専用回線を提供します。

以上のサービスの中で、地方公共団体が利用者となって直接利用するのは、①アプリケーション及びコンテンツサービスです。

図-1 LGWAN-ASPの構成

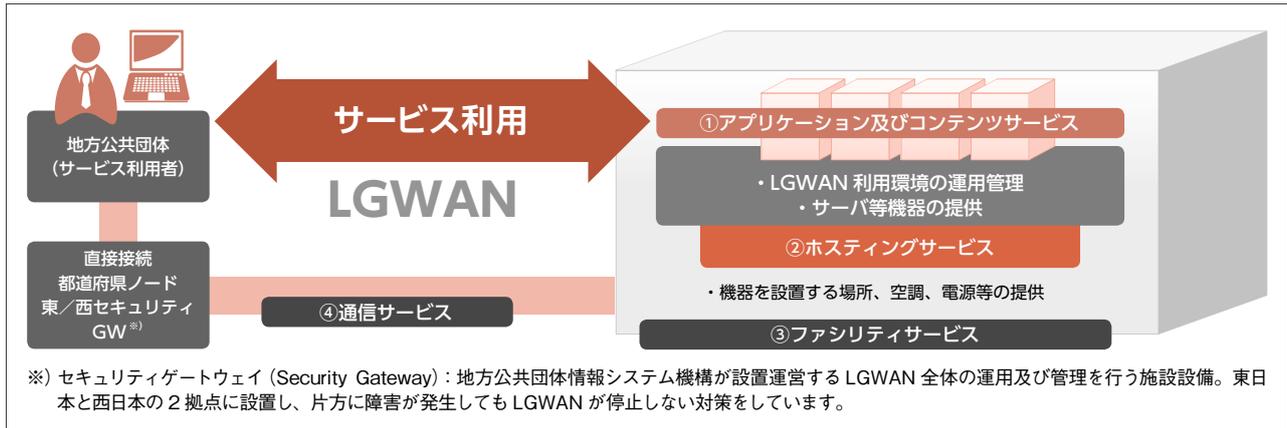
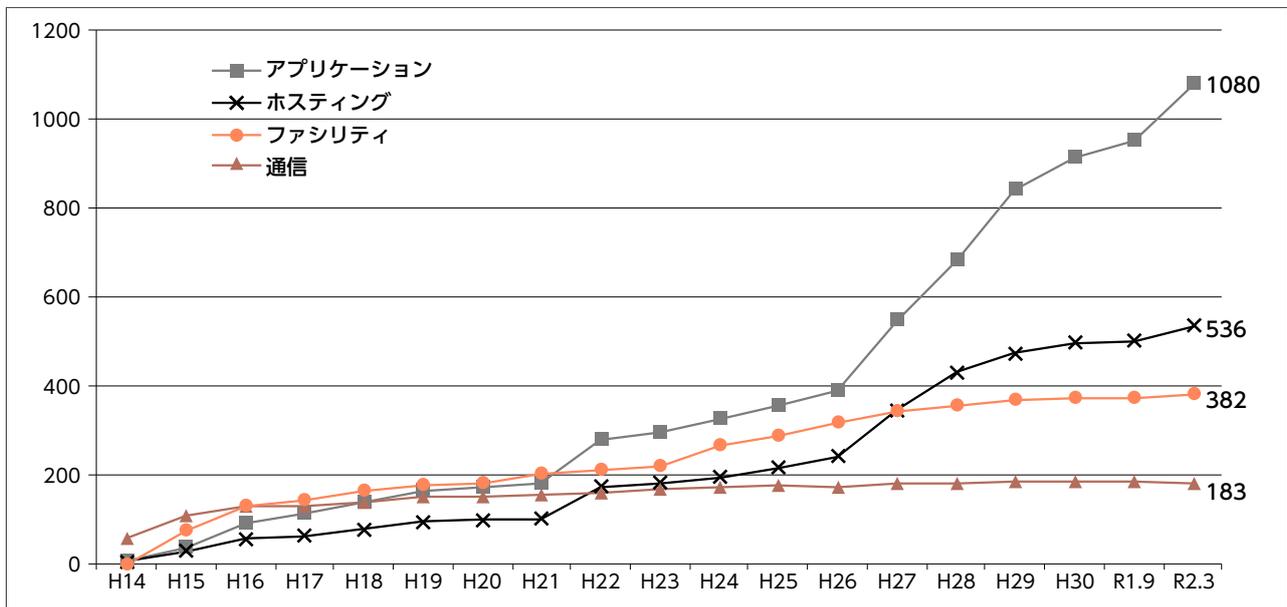


図-2 LGWAN-ASP 登録数の推移



3 LGWAN-ASP 登録数の推移

LGWAN-ASPサービスの登録数は、図-2のとおり年々増加しています。地方公共団体が直接利用するアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数も年々増加しており、その種類も増えています。

4 アプリケーション及びコンテンツサービスの分析

図-2のとおり、令和2年3月末のアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数は1,080件ですが、その提供者の内訳は、図-3のとおりです。

平成30年度の集計時点で、民間企業の提供するサービスの総数が、地方公共団体が提供するサービス（オンプレミス型¹⁾のコンビニ交付サービス等）の総数を上回っていました。令和元年度（平成31年度）においてもその傾向が継続し、民間企業の提供するアプリケーション・サービスが増加しています。

LGWAN-ASPサービスとして提供されている行政事務サービスは様々です。

LGWAN-ASPサービスを開始する際、もしくは変更する際に、LGWAN-ASPサービス提供者が機構に提出する申込書には、行政事務分野（提供するサービスがどのような分野で利用されるものであるか）及びシステム分野（どのようなシステム的特徴があるか）について記載する項

図-3 アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者

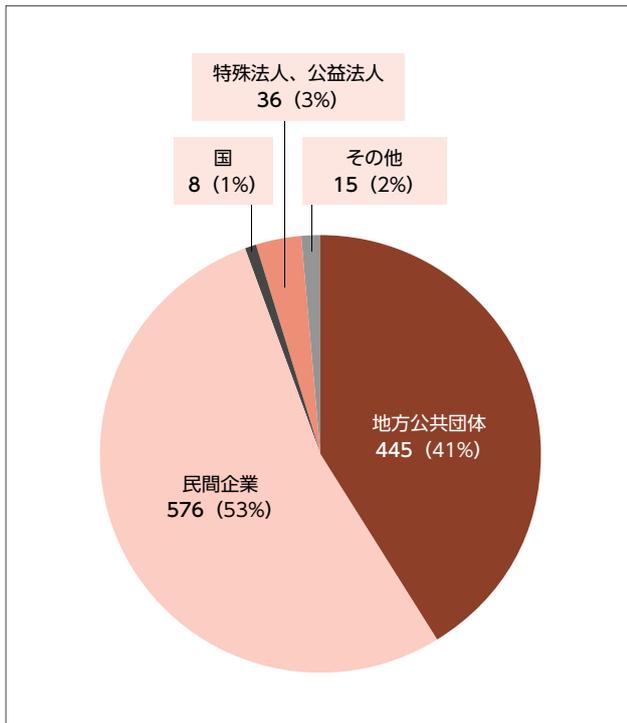


図-4 行政事務分野別登録状況

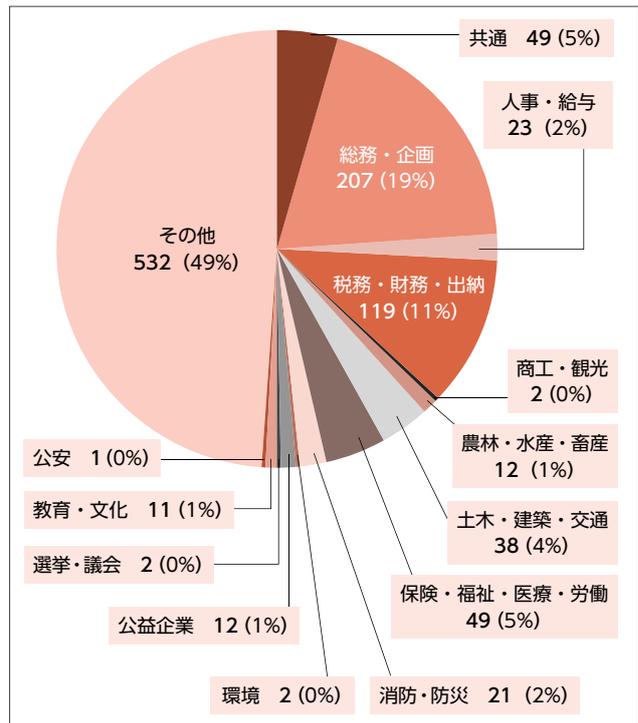
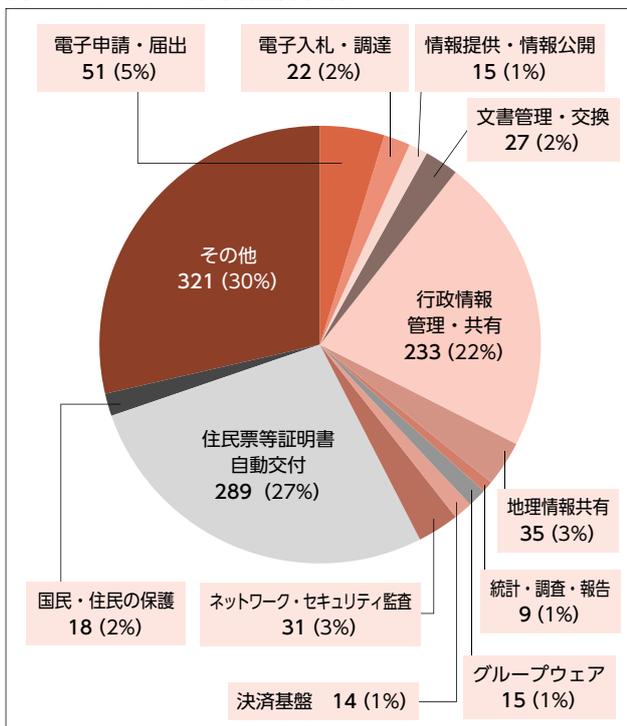


図-5 システム分野別登録状況



目があります。これらをまとめた図が、図-4と図-5です。

近年の傾向として、「コンビニ交付（図-5内、住民票等証明書自動交付）」に係るアプリケーションが全体に占める割合が高く、現在でもコ

ンビニ交付サービスを提供する地方公共団体は増加傾向にあります。

また、もう一つの傾向としては、「その他」や「部門を特定しない」項目のアプリケーションが増加しており、特定の行政事務分野に分類されない、多種多様なアプリケーション・サービスが提供されていることが見受けられます。近年、地方公共団体職員の働き方改革においても注目されている次のようなサービスも、LGWAN-ASPサービスとして提供されています。

● RPA 配信サービス

企業の働き方改革や生産性向上を目的に導入の検討及び実証実験をする地方公共団体も多いRPA（Robotic Process Automation）をLGWAN-ASPサービスとして配信。

● AI-OCR 配信サービス

AI（人工知能）技術を取り入れることにより、従来では指定された様式に丁寧な文字でなければ読み取りが困難だった文字でも、読み取り精度が向上したOCR（Optical Character Recognition：光学的文字認識）をLGWAN-ASPサービスとして配信。

図-6 LGWAN-ASPの主なサービス


5 アプリケーション及びコンテンツサービスの活用事例

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの利用を希望する地方公共団体は、そのサービスの提供者が定める利用約款等に基づいて利用許諾を得ることにより、LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスを利用することができます。その際、当機構への手続は原則として必要ありません。LGWAN-ASPには、主に図-6のような種類のサービスがあります。

現在登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの概要については、サービス

分類（システム分野）又は提供地域ごとに整理の上、インターネット上の地方公共団体情報システム機構ウェブサイト²⁾にサービスリストとして掲載されています。

新規システムの導入や既存システムの更改の際は、セキュアなネットワークであるLGWANを利用したLGWAN-ASPサービスの利用をぜひご検討ください。

1) オンプレミス：自団体の中でサーバやソフトウェアといった情報システムを保有し、自団体内の設備によって運用すること。クラウドサービスの利用が一般化してきており、それらと区別するため従来の自団体内運用をオンプレミスと呼ぶようになりました。
 2) https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html

LGWAN-ASPサービス登録／接続状況（令和2年5月18日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の登録／接続状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録：1,074件	■ホスティング	接続：539件
■通信	登録：183件	■ファシリティ	登録：380件

登録／接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html